



飯塚市教育委員会事業評価結果報告書

(平成23年度分)

～飯塚市の未来を担う～

「かしこく」「やさしく」「たかましい」子どもたちの育成

平成24年10月

飯塚市教育委員会

目 次

I	はじめに	・・・・・・・・・・	P 1
II	飯塚市教育委員会について	・・・・・・・・・・	P 1
III	教育委員の活動状況	・・・・・・・・・・	P 2
	(1) 教育委員会会議		
	(2) 研修会等への参加状況		
IV	平成23年度事務事業評価	・・・・・・・・・・	P 4
	1 点検・評価について		
	(1) 点検・評価する事務の対象		
	(2) 点検・評価の方法		
	(3) 結果の取扱い		
	2 全体評価結果		
	(1) 外部評価講評	・・・・・・・・・・	P 5
	(2) 全体集計結果	・・・・・・・・・・	P 7
	3 取組施策別評価結果		
	(1) 学校教育	・・・・・・・・・・	P 8
	(2) 社会教育	・・・・・・・・・・	P 14
	(3) 点検・評価シート一覧表	・・・・・・・・・・	P 19
	(4) 点検・評価シート（各課提出）	・・・・・・・・・・	P 20
●	参考資料		
	平成23年度教育委員会会議議決及び報告事項一覧	・・・・・・・・・・	P 45

＜本報告書作成にあたり外部評価いただいた方々＞

福岡教育大学教授	井上 豊久
福岡教育大学教授	坂本 憲明

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすために、平成 23 年度の飯塚市教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 飯塚市教育委員会について

【組織、構成】

都道府県及び市町村等に置かれる行政機関のひとつで、非常勤の教育委員をもって組織される合議制の執行機関であり、学校教育、生涯学習、文化等に関する事務を担当しています（飯塚市教育委員会は 5 人の教育委員で構成されています）。

【教育委員の任命】

市長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものの中から、市長が議会の同意を得て任命し、その任期は 4 年（再任可）となっています。

【運営等】

教育委員会は、大局的な見地から教育行政の基本的方針を決定し、その方針決定を受け、教育長が事務局を指揮監督して具体的な事務を執行する仕組みとなっています。

【飯塚市の教育委員】

職名	氏名	現在の任期
委員長	上田 敬子	H24. 5. 17～H28. 5. 16
委員(委員長職務代行者)	井上 有比古	H21. 5. 17～H25. 5. 16
委員	大隈 恵子	H22. 5. 17～H26. 5. 16
委員	高石 双樹	H23. 5. 17～H27. 5. 16
委員(教育長)	片峯 誠	H22. 5. 17～H26. 5. 16

Ⅲ 教育委員の活動状況

(1) 教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回の「定例会」と委員長が必要と認めたとき等に開催する「臨時会」からなっており、付議案件及び懸案事項などの審議を行い、教育行政の方針等を決定しています。

【平成23年度開催状況等】

- ① 開催回数：15回（うち定例会12回、臨時会3回）
- ② 付議件数等：議決事項・・・ 58件 ※「Ⅶ 参考資料」参照
報告事項・・・ 65件 ※「Ⅶ 参考資料」参照
- ③ 主な付議案件
 - 飯塚市体育施設条例の制定
 - 飯塚市教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則
 - 平成24年度から使用する中学校教科用図書の採択
 - 飯塚市公立保育所・幼稚園のあり方に関する実施計画の策定
 - 鎮西中学校区及び穂波東中学校区における小中一貫教育校建設適地の決定

etc

《平成23年教育委員会会議にて》



(2) 研修会等への参加状況

◇会議・研修会等への出席

時 期	名 称	概 要
平成 23 年 4 月	校長研修会	○飯塚市の教育施策及び学校教育プラン等周知 ○代表校長による学校事業実践報告
	福岡県市町村教育委員会委員長・教育長会議	○福岡県教育行政の主要施策について
5 月	第 55 回福岡県市町村教育委員会女性教育委員研修会	○学校教育改革の動向と支援についての講話など
7 月	筑豊市町村教育委員会連絡協議会	○「発達障がい支援」についての講演など
8 月	夏期管理職研修会	○学校における薬育の推進についての講話 ○保護者との信頼関係を築く職員研修についての講義
	福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育長研修会	○「学校教育に関する事項」、「社会教育、生涯学習、教育行財政に関する事項」について各部会で研究討議
	第 9 回九州地区市町村教育委員研修大会	○「学校と地域との連携」についてパネルディスカッションなど
9 月	筑豊教育事務所管内市町村教育委員等人権同和研修会	○人権同和教育推進上の課題解決に向けて「今、人権教育・啓発に問われていること」について講話など
11 月	第 3 回教育力向上福岡県民運動筑豊地区推進会議	○「今、語り合う未来のふくおか」をテーマに意見発表や交流など
12 月	冬期管理職研修会	○「小中連携教育から小中一貫教育へのステップについて」の講話 ○管理職のための危機管理講座
平成 24 年 1 月	福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育委員長研修会	○「日本人の誇り」、「国・県の教育施策の動向について」の講話など
2 月	福岡県市町村教育委員会連絡協議会新任教育委員、新任教育長研修会	○「福岡県の教育施策」、「今、市町村教育委員会はどこに力点を」についての講話など

◇学校訪問・行事等への出席

時 期	名 称	概 要
平成 23 年 4 月	小学校・中学校入学式、幼稚園入園式	市立小学校 22 校 市立中学校 12 校 市立幼稚園 3 園
平成 23 年 4 月 ～ 平成 24 年 3 月	定例校長会	円滑な学校運営を図るために、様々な教育課題について協議
平成 23 年 6 月 11 月	学校開放日	市立小学校 22 校・中学校 12 校で実施される公開授業を視察
平成 23 年 9 月～12 月	学校訪問	目尾小学校・片島小学校・庄内小学校・鯉田小学校・菰田中学校・穂波東中学校を訪問、授業視察等を踏まえ学校運営等について意見交換を実施
平成 23 年 11 月 ～平成 24 年 2 月	学校研究発表会	楽市小学校・穂波東中学校・穂波西中学校を訪問、実践的な取り組み等の研究発表を視察
平成 24 年 3 月	小学校・中学校卒業式、幼稚園卒園式	市立小学校 22 校 市立中学校 12 校 市立幼稚園 3 園

IV 平成 23 年度事務事業評価

1 点検・評価について

(1) 点検・評価する事務の対象

飯塚市教育施策要綱に掲げる主要施策を達成するために、取り組んだ主な事業を対象としています。

(2) 点検・評価の方法

(1)に係る事業ごとに、必要性、効率性、公平性の観点からその達成度について、それぞれの所管課・部署が自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者の方々に外部評価をいただきました。

外部評価については、教育に関し学識経験を有する者で、公正な意見を述べることが期待できる人を想定し、教育系大学の教授 2 名の方に評価をいただきました。また、事業ごとに評価者と各所管課との間でヒアリングを実施し、各事業の達成度や成果等について意見聴取を行いました。

この点検・評価においては、事業ごとにその達成度・成果等に応じて、評価者 2 名の合議のもと、A (達成している)、B (概ね達成している)、C (課題がある)、D (事業見直しが必要) で評価しています。

(3) 結果の取扱い

評価の高い事業は引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に、事業の見直しについても検討していきます。

2 全体評価結果

(1) 外部評価講評

□福岡教育大学教授 井上 豊久

今回、25の事業について聴き取りを含めて評価を行ったが、飯塚市の教育の考え方に沿って、学校教育・社会教育が共に教育を充実させていっていることがうかがわれたことは全体的に評価できる。ここでは特徴的事業を中心にまとめる。

学校教育に関しては、重点施策である「学力向上プランの活用促進」がさらに推進され、特に児童生徒の学力結果が国や県を上回るなど評価できる。成果をアピールして全校への拡充を考えていくことが方向としてはよりよいと思われ、今後も教職員や保護者・地域への積極的な啓発・研修の充実が求められる。「学校図書」では充足率が向上しているが、今後は一人当たりの貸出冊数がさらに伸びることが求められよう。学校図書館への1校1人の司書配置は専門性・子どもの読書文化の醸成にとって評価できるが、司書教諭との協働がさらに求められよう。「人権・同和教育担当者研修会の定例実施」では指導方法の改善などが国際化や情報化の新しい視点を取り入れてなされており、実践力の育成へとさらにつなげていくことが求められよう。コミュニティスクールに関しては熱心に取り組みを進めていることがうかがわれるが、家庭や地域との連携・協働に加えて、指導生徒のボランティアの充実など地域に貢献できるという視点も今後は必要とされよう。

社会教育に関しては、図書館事業は全体として充実しているが、指定管理のあり方も含めてさらに検証し、学校とのさらなる連携やネットなど現代的課題や地域主権など地域課題への的確な対応が求められよう。公民館事業は全体的に充実しており、今後も継続・発展させていくことが望まれる。人材育成に関しては飯塚市の特色としてその充実が大いに評価できるが、活躍の場の開拓、実習学習の取り入れなど学習したことが地域活動に実際に活かされるためのさらなる取組みが緊要であろう。公民館まつりによる地域の公民館の活性化は絆づくりの視点からも重要であり、実施に関しての研修・情報共有等さらなる支援が求められる。「飯塚市新人音楽コンクール」は市民参画については効果がみられ評価できるが、今後は受賞者・ボランティア等のフォロー調査を行うなど、あり方を検討することも必要であろう。伊藤邸など文化財に関しては展示の工夫など事業等一定の評価が出来るが、今後は学校・NPOとの連携やワークショップ形式の導入など参加の促進と参加者の固定化の克服への効果的な対応が求められよう。学芸員の派遣など啓発は一定評価できるが、今後は音楽・美術・演劇など町全体で市民参画での更なる文化芸術の活性化が必要である。

全体として教育を重視し、市民参画が図られてきていることが評価できる。

飯塚市に関わる市町村合併後、旧来の各教育委員会管轄事業の整理・統合が着実に進み、今年度に至るまでに円滑な企画運営がなされていると評価できる。

なお、本外部評価を部署別ヒアリングの形態で行っていただき3年目となるが、年度を経るごとに、各部署が定めている課題や前年度までの評価等の指摘事項をふまえた取組の向上が真摯になされていることを、紙面上だけでなく担当者から詳しく確認することができている。

例えば、学校教育においては、学力向上に向けての課題、義務教育段階での一貫教育（施設一体型の小中一貫教育）に関わる諸々の課題など、まだまだ解決すべき困難な課題も多く、期待される目標に至っていない部分もあるかもしれないが、当該年度に設定された達成目標に向けての工夫と日々の取り組みを強く感じられ、徐々に成果も出てきている。これも職員の皆様の努力の賜と拝察いたしますが、今後も継続して（中・長期的な目標も視野に入れながら）、さらに高い目標実現を図っていただきたい。

また、社会教育においては、飯塚市独自の魅力ある取り組みが継続されており、今後のさらなる進展も楽しみである。学校教育と社会教育が連携したコミュニティスクールの研究推進などにも期待したい。なお、飯塚文化の発信に関しては、旧長崎街道を軸とした文化財の利用および地域活性化の施策も今後は望まれるものと思われる。

総じて、全体的な評価としては、今回は概ね良好であると判断されるが、諸般の課題に加えて、学校教育におけるいじめ問題、震災後の日本復興に関する社会的課題、地域主権の実現可能性など、次々と動的に対応を迫られている時勢である。

現状に満足せずに英知を結集して、より一層の事業の充実と飯塚市の発展をめざしていただきたい。

(2) 全体集計結果

飯塚市教育施策要綱に掲げた主要施策を達成するために、平成 23 年度に実施した事務事業の中で、事業の必要性や継続性等の観点から学校教育分野で 13 事業、社会教育分野で 12 事業、計 25 の事務事業を選定し、外部評価者より評価をいただきました。

その結果、目標達成度は次の表のとおり、「A 達成している」が 16 事業で 64%、「B 概ね達成している」が 9 事業で 36%、「C 課題がある」、「D 事業見直しが必要」は 0 事業でした。

《評価結果集計表》

() 内は率

評価 区分	A 達成	B 概ね達成	C 課題がある	D 要事業見直し	全 体
学校教育	8	5	0	0	13
社会教育	8	4	0	0	12
計	16 (64%)	9 (36%)	0 (-)	0 (-)	25 (100%)

○ヒアリング実施・・・平成 24 年 9 月 3 日 (月) 9:00~17:00



《ヒアリング風景》

3	小中教員の連携強化による学習指導の充実 (小中一貫教育調査研究事業の推進)	学校教育課	飯塚市が推進している小中一貫教育の第一歩として、来年度から颯田小中一貫教育校がスタートする。これについては、数校の研究校を指定し9年間を見通したカリキュラム開発、小中学校合同行事開催による教員の連携強化、また、小中一貫教育について保護者や地域を対象に説明会やリーフレット等配布による広報啓発、地域推進会議の開催など飯塚市全体で尽力された結果であり、今後の学力向上等を含め教育効果への期待も大きい。今後、施設一体型・連携型の一貫教育を進めていく中で、様々な問題等はあると思われるが、引き続き効果的な小中一貫教育のあり方等について調査・研究及び地域への理解に努めてほしい。	A
---	--	-------	--	---

☆豊かな人間性の育成

教育活動全体を通して、道徳性を養う心の教育の充実を図ります。また、国際化に対応するため、外国語指導助手の活用及び外国人児童生徒への教育支援に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評 価
4	学校図書の整備・充実	教育総務課	学校図書館図書標準(文部科学省が示した学校図書館における蔵書冊数)を目標に、毎年、図書購入を行っているが、特に本年度は国からの交付金を活用出来たことで、各学校図書館の蔵書冊数も増え、充足率も前年度比+5.4%上昇している。また、飯塚市が行っている全学校に各1名の図書司書(有資格者)を配置し、学校図書館運営の充実を図っている自治体は県下でも少なく、先駆的な取組みであり非常に素晴らしいこと。今後も学校図書標準に対する充足率100%を目標に計画的な図書の購入、また、学校における図書館の活用促進等も含めて学校との連携強化に努めてほしい。	B

☆体力の向上

外遊びや学校における体育学習の充実及び運動部活動の活性化を通して、子どもの運動・スポーツの習慣化を図り、体力向上のための教育活動を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
5	新体力テスト結果に基づいた体力向上の取組の促進 (新体力テストの調査結果のまとめ・情報提供等)	学校教育課	子どもたちの体力の低下は全国的な課題であるが、市立の全小中学校において新体力テストを実施、その結果をもとに、各学校にフィードバックし、各種目別に子どもたちの現状に応じた様々な取組みを行うことで少しずつ体力アップに繋がっていると思われる。今後は、目標設定の方法等を検討していくことで、更なる取組みの充実を図ってほしい。	B

☆人権教育の推進

児童生徒の発達段階に即し、学校の教育活動全体を通して、同和問題をはじめとする様々な人権教育を推進し、人権に関する知識や態度、実践力を身につける教育を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
6	人権・同和教育担当者研修会の定例実施	学校教育課	昨年同様、教職員等に対する人権・同和研修会は定例で実施され、子どもたちへの指導方法等に活用されている。今後も人権感覚や自尊感情の育成の視点に立ち、担当者等研修会の充実、人権教育の目標設定や指導計画の策定などの取組みを進めることで人権教育に関する授業づくりに還元出来るよう努めてほしい。	A

☆生徒指導の充実

生徒指導の充実を図るため、いじめ・不登校や問題行動等の未然防止や早期対応に努めるとともに、児童生徒の社会性や対人関係能力の育成を図るため、関係機関及び地域との連携を強化します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
7	スクールサポーターの活用	学校教育課	中学校において、スクールサポーターを定期的に派遣し、問題行動等の未然防止として校内巡視や登下校時のパトロール、教育相談活動等を行っていて、生徒指導上の問題行動等発生件数が前年度比約 1/3 に減少するなど成果が表れている。今後、生徒指導同様にいじめ問題等に関しても、スクールサポーターやスクールカウンセラー等専門員の拡充・配置を行い、未然防止はもとより、発生時に迅速な対応が図れるように、各機関の連携強化や協力体制づくりに尽力し、是非、継続してほしい事業である。また、現在、少数であるスクールサポーターの負担軽減等考慮し、可能な範囲で増員も検討してほしい。	A

☆学社連携の推進

地域人材を活用して、積極的に高齢者や地域住民との交流を図るとともに、学社連携の推進に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
8	学校開放日の実施に向けた市内企業等の参画推進	学校教育課	保護者や地域だけでなく、市内の企業等を対象に、年 2 回、市立の各小中学校を開放し、児童生徒の様子や学校の取組み等を参観してもらうことで、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進している。このことは、非常に素晴らしい取組みであり教育効果も期待できる。その成果の一つとして、毎年、学校ごとに公開する授業内容等の工夫により、特色のある教育活動が展開されていることで参観者数は前年度より約 500 人増加している。今後は、保護者や地域の方はもとより、市内企業等の参画の推進を更に図るため、積極的な啓発・広報活動等に努めてほしい。	A

9	学校・家庭・地域・行政が一体となったコミュニティスクール	学校教育課	高田小学校における学校運営協議会の取組みに、保護者や地域住民が参加することで、学校・保護者・地域間のネットワークが構築され、学校の活性化にも繋がっている。また、子どもたちが地域の清掃活動等積極的に参加するなど学校、保護者、地域で協働の地域づくりも出来ている。現在、地域コミュニティづくりは肝要であり、今後は実施している活動等のアピールをより広域に行いながら、同時に内容等を工夫していく中で、事業の充実と新たな展開を期待したい。	B
---	------------------------------	-------	---	---

☆家庭・地域社会との連携協力

家庭や地域との連携・協力による学校づくりを推進するため、保護者や住民の意向を把握し、学校運営に反映させるシステムの確立に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
10	学校グループ間での学校評価システムの確立	学校教育課	各学校が推進している教育内容について、学校内だけではなく学校外(※保護者、PTA 会長、他学校長等)からの評価を受けることで、教育の質の保証・向上、学校運営の改善など開かれた学校づくりへ繋げている。今後、評価項目等の見直しを含めた検討を行い、より学校間評価システムの充実を図ることで、保護者や地域等の信頼に応える学校づくりを目指し、尽力してほしい。	B

☆就学前教育の充実

家庭や地域社会と連携を図りながら、幼児教育の振興や子育てに関する学習機会の充実に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
11	幼保一体化に向けた調査研究	学校教育課	幼保一体化を見据えた中で、公立保育所(3園)・公立幼稚園(3園)の今後のあり方について、それぞれが連携した「認定こども園」として25年度に再編整備するという実施計画を策定し一定の方向性を示した。今後は、幼保に関する様々な違い等を考慮した教育内容等の計画、実務レベルの協議など実施に向けて取組む事項が多々あるものと考えられるので、十分に検討・協議を行い、子どもたちのためによりよい運用が出来るように努めてほしい。	A

☆情報教育の充実

教育の情報化を推進するため、情報教育の充実を図るとともに、インターネット等ITを活用した教育内容・方法の研究・実践に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
12	情報機器の更新	教育総務課	市立の小中学校のパソコン教室に配備されている教育用情報機器については、老朽化に伴う修繕や更新が迅速かつ計画的に行われ、情報教育の授業に支障をきたさないよう対応出来ている。また、IT委員会を定期的開催し、各学校の情報教育担当者との意見交換等を行うことで、よりよい情報教育環境づくりに努められている。今後、情報化社会が加速していく中で、学校等の多様なニーズに可能な限り対応していくことで、子どもたちの情報教育環境の整備・充実を図るとともに、機器の効果的な使用に関する研修も行ってほしい。	A

☆学校給食の充実

学校給食における衛生管理の徹底を図り、安心・安全な給食の提供に努めるとともに、給食内容の工夫・改善、並びに給食指導の充実による食育の推進に努めます。また、飯塚市学校給食運営基本方針に基づき、自校方式給食調理場への移行を推進するとともに、給食調理業務の民間委託導入を進めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
13	食育通信、献立表の発行を通じて学校給食に関する啓発の実施	学校給食課	自校式調理場建設も整備計画に沿って進められているが、同時に保護者を対象に毎月の献立表や食育いづかを発行・配布し、学校給食の啓発、食育の推進に努めている。併せて、保護者以外の一般市民の方に関しても、学校給食の試食体験イベントを開催するなど幅広く啓発活動を行っている。また、地産地消の推進ということで、月1回「飯塚の台所」という企画献立により、飯塚産の農産物を献立に取り入れて給食を実施するという素晴らしい取組みもされている。今後、新たな取組み等も検討しながらよりよい学校給食の充実に努めてほしい。	A

(2) 社会教育

☆社会教育施設の有効利活用の推進

社会教育施設の有効利活用の推進を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
14	社会教育施設の利用促進及び有効活用 (直営：穂波図書館・ 颯田図書館)	生涯学習課 (生涯学習・ 図書館G)	飯塚市全体の人口も減少しているという状況下で、利用者や貸出し数が非常に伸びている。これは、市立図書館5館のうち3館が指定管理、2館が直営で図書館運営を行っている中で、日頃から指定管理者と市職員等が連携を図り、職員等研修や各取組み等で様々な工夫をされた結果と思われる。今後、5館全体の運営方法や小中一貫校との複合施設として設置される市立図書館の活用方法等について、いろいろな視点から検討し、更なる利用者の拡大を目指してほしい。	A

15	社会教育施設の利用促進及び有効活用 (穂波青少年野営訓練所)	中央公民館	現在の子どもたちは、様々な体験活動の機会が減っていると思われるが、当該施設は、自然の中で色々な体験活動ができ、それを通して体力や耐性を培うなど健全育成の趣旨から非常に意義ある野外施設である。ただ、当該施設の老朽化が進んでいることから、何らかの対応を図ることで安全性等の確保にも努めると同時に、利用者の増加を目指し広報活動等に尽力してほしい。	B
----	-----------------------------------	-------	--	---

☆様々な学習機会の提供及び学習成果の活用

ライフステージに応じた学習の機会を提供します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
16	熟年者マナビ塾事業の実施	中央公民館	高齢化社会において、高齢者自らが学習活動を行い、生きがいを果たすことは大切なことである。更に、それによって習得した知識や技術等を学校へ出向き子どもたちへ教えたり、一緒に活動したりといった形で学校支援へと繋げている。このような事業は、飯塚市が全国に誇れる取組みである。今後、活動内容等をアピールするなど広報活動に努め、新規塾生を拡大してほしい。	A
17	高齢者講座等（コスモス大学など）の実施	中央公民館	高齢者を対象に教養・専門講座を行い、各受講者が学んだことを日常生活で活かすと同時に、その技術や知識をボランティア活動等通じて地域や学校に還元している。このような流れは、現在、進んでいる高齢化社会への対応としては大切なこと。今後、参加者の多様なニーズへの対応、積極的な広報等に努め、受講者の拡充を図ってほしい。	A
18	各種学級・講座の実施	中央公民館	子どもから高齢者まで幅広い地域住民を対象に、趣味的なものから社会情勢等を反映した講座など市民のニーズに応じた各講座・教室を開催し、多くの学習機会を提供している。年間の開催数や参加数も多く、住民間の交流等も活発に行われている様子が見える。今後も多様なニーズに対応しながら、特定の市民のみが参加する事業とならないように、適切な企画や創意工夫を行い、充実・拡充を図ってほしい。	A

19	公民館まつり等の実施	中央公民館	公民館まつりは地域に根差したものであり、地域の活性化のためにも必要な事業である。また、日頃から公民館で学習活動を行っているサークルやボランティアグループ等が成果を発表することで、学習意欲の喚起や次の活動へと繋がっていくものになると思われるので、今後、地域と行政が良いパートナーとして協働のまちづくりが展開できるようにな組織づくり等に尽力してほしい。	B
----	------------	-------	--	---

☆ボランティアネットワークの整備拡充

生涯学習ボランティアネットワーク（人材派遣事業）の整備拡充を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
20	○地域で活躍している人材の発掘・登録 ○学習ボランティア登録者の派遣・仲介 ○学校支援ボランティア活動の推進	中央公民館	市民への学習機会の拡大・支援、同時に市民学習ボランティア活動の推進を図ることで、生涯学習の体制づくりをしていくという飯塚市の特色ある事業であることから、是非、継続してほしい。但し、派遣登録者数や派遣先対象者数は増加しているが、中には派遣の機会が少ない登録者もいるので、活動機会の拡大に向けた広報やPRなどに努めてほしい。	A

☆文化の振興

飯塚市文化振興マスタープランに基づき、市民が芸術文化に親しむ機会を拡充するなど、魅力ある芸術文化活動を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
21	飯塚新人音楽コンクール 30 周年記念事業の実施	生涯学習課 (生涯学習・文化振興G)	飯塚新人音楽コンクールの開催は、先駆的な事例であり、市民参画という点からも 30 周年を迎えたことは本当に素晴らしいこと。これまで支えてこられた方々のご苦労は大変なものであったと思われる。 今後も、市民参加型のひとつとして、是非、当該事業を継続してほしい。	A

☆文化財保護思想の普及啓発

歴史と伝統に培われた貴重な文化資源を永く後世に伝えるため、文化財保護活動の充実や情報提供等、文化財に対する理解を深める施策を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
22	企画展の開催	文化財保護課	毎年、様々な企画展が行われていて、入館者も年々増加傾向にある。これは、入館者からのアンケート調査等の意見を参考に企画・立案し、可能な限り入館者のニーズに応えるよう努めている結果だと思われる。今後、より積極的にPR活動等を行うと同時に、多くの市民が歴史・文化に親しみやすい企画展を開催するなどし、入館者の増加に努めてほしい。	A
23	文化財の一般公開 (旧伊藤伝右衛門邸)	文化財保護課	旧伊藤伝右衛門邸は筑豊の近代化遺産であり文化財としての価値も高い。更に、今年度、庭園が国の名勝として指定されたこともあり、一般公開や各イベント等開催時には多くの入館者があった。今後、文化財としての維持管理、また、観光施設としての環境整備、入館者の増加を目指したイベントやPR活動等を検討していく中で、民間のノウハウの活用等も視野に入れ、各関係機関と連携を図り、将来を見据えた計画の策定等に努めてほしい。	A
24	文化財の一般公開 (旧松喜醤油屋)	文化財保護課	市指定有形文化財ということで、旧伊藤伝右衛門邸同様、観光施設としても一般公開や各イベント等を行っているが、徐々に入館者が減っている。また、建物の老朽化が進んでいて改修工事が必要であるということから、速やかに関係機関等と今後の活用方法等について協議・検討を行うなどの対応を図り、今後の入館者の増加に努めてほしい。	B

☆文化財の保存・継承・活用

文化財の保存・整備・活用を図るとともに、地域の文化や特色を伝承する民俗
芸能の保存・継承・活用を進めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評 価
25	指定文化財の保存・継承（綱分八幡宮）	文化財保護課	県指定文化財綱分八幡宮神幸行事は伝統行事であり、総合的に素晴らしい無形文化財であるが、一般の方の見学者が減少している。当該行事は、今後の若い世代に継承していくべき伝統行事であると思われるので、PR活動の強化等に努め、見学者の増加に繋げてほしい。	B

事務事業に係る点検・評価シート一覧表（平成23年度実施）

項目	シートNo.	取組施策等
学 校 教 育	1	飯塚市学力向上プランの活用促進 《学力実態調査(全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査、NRT、CRT、フクト)の調査結果のまとめ・情報提供等》
	2	少人数学級編制事業の実施
	3	小中教員の連携強化による学習指導の充実 (小中一貫教育調査研究事業の推進)
	4	学校図書を整備・充実
	5	新体力テスト結果に基づいた体力向上の取組の促進 (新体力テストの調査結果のまとめ・情報提供等)
	6	人権・同和教育担当者研修会の定例実施
	7	スクールサポーターの活用
	8	学校開放日の実施に向けた市内企業等の参画推進
	9	学校・家庭・地域・行政が一体となったコミュニティスクールの推進
	10	学校グループ間での学校評価システムの確立
	11	幼保一体化に向けた調査研究
	12	情報機器の更新
	13	食育通信、献立表の発行を通じて学校給食に関する啓発の実施
社 会 教 育	14	社会教育施設の利用促進及び有効活用 (穂波図書館・穎田図書館)
	15	社会教育施設の利用促進及び有効活用 (穂波青少年野営訓練所)
	16	熟年者マナビ塾事業の実施
	17	高齢者講座等（コスモス大学など）の実施
	18	各種学級・講座の実施
	19	公民館まつり等の実施
	20	地域で活躍している人材の発掘・登録他
	21	飯塚新人音楽コンクール30周年記念事業の実施
	22	企画展の開催
	23	文化財（旧伊藤伝右衛門邸など）の一般公開 (※旧伊藤伝右衛門邸)
	24	文化財（旧伊藤伝右衛門邸など）の一般公開 (※旧松喜醤油屋)
	25	指定文化財の保存・継承（綱分八幡宮）

点検及び評価シート

No. 1

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課																													
1 区分	学校教育																															
2 主要施策	【1. 学力の向上】学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着を図ります。小学校第1学年から第3学年においては、少人数による学級編制を行い、一人ひとりの個性や能力を引き出す教育活動を推進します。																															
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	飯塚市学力向上プランの活用促進 《学力実態調査（全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査、NRT、フクト、CRT）の調査結果のまとめ・情報提供等》																														
	(2)事業等の内容	小学校NRTテスト（2～6年生）【国語・算数】 小学校CRTテスト（1～6年生）【国語・算数】 中学校領域別学力分析検査（1～3年生） 【1年生4教科・2～3年生5教科】 中学校学力定着度診断テスト（3年生）【5教科】 知能検査（小学校2年生）																														
	(3)事業等の目標値	各種学力テスト等の完全実施（目標ポイント：1ポイントup）																														
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>小学校NRTテスト</td> <td>104.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校領域別学力分析検査</td> <td>97.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成22年度実績</td> <td>小学校NRTテスト</td> <td>102.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校領域別学力分析検査</td> <td>95.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平成20年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>小学校NRTテスト</td> <td>103.8</td> <td>104.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校領域別学力分析検査</td> <td>94.2</td> <td>94.4</td> <td></td> </tr> </table> <p>【成果】</p> <p>市立小・中学校の対象児童・生徒（特別に配慮を要する者を除いて）に対して実施することができ、全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査と併せて、各学校が学力向上に向け、創意ある取組に改善することができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>○小学校NRTテストは昨年度比1.3ポイントアップであった。全国比をさらに上回ることができ十分に目標値を達成している。</p> <p>○中学校領域別学力分析検査でも2ポイントアップし、目標値の2倍の実績をあげることができた。確実に学力は向上している。</p>				平成23年度実績	小学校NRTテスト	104.1			中学校領域別学力分析検査	97.5		平成22年度実績	小学校NRTテスト	102.8			中学校領域別学力分析検査	95.4				平成20年度	平成21年度	小学校NRTテスト	103.8	104.7		中学校領域別学力分析検査	94.2	94.4	
平成23年度実績	小学校NRTテスト	104.1																														
	中学校領域別学力分析検査	97.5																														
平成22年度実績	小学校NRTテスト	102.8																														
	中学校領域別学力分析検査	95.4																														
		平成20年度	平成21年度																													
小学校NRTテスト	103.8	104.7																														
中学校領域別学力分析検査	94.2	94.4																														
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	全国学力・学習状況調査において、全国平均にも届いていない状況である。このことから、各種学力テスト等を継続実施し、児童・生徒の現状を把握しながら、さらなる学力向上を目指す必要がある。																															

点検及び評価シート

No. 2

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	<p>【1. 学力の向上】学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着を図ります。小学校第1学年から第3学年及び中学校第1学年においては、少人数による学級編制を行い、一人ひとりの個性や能力を引き出す教育活動を推進します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	少人数学級編制事業の実施	
	(2)事業等の内容	小学校2～3年生及び中学校1年生において、35人以下学級を編制し、市費負担教員を配置する。	
	(3)事業等の目標値	小学校7校8クラスに対し8名、中学校2校2クラスに対し2名の配置（達成率100%）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】 小学校 7校8名 飯塚東小 2名 鯉田小、立岩小、伊岐須小、蓮台寺小、平恒小、若菜小 各1名 中学校 2校2名 幸袋中、鎮西中 各1名</p> <p>【成果】 小学校7校8クラスに対し8名、中学校2校2クラスに対し、2名の教員を4月1日から配置することができた。</p> <p>【目標値との対比】 目標値対し、100%達成した。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>授業や生活指導面において、きめ細かな指導を可能とするための少人数（35人以下）学級編制の実施に伴い、市費負担教員を配置することを目的とし行っているが、23年度は、法改正により、小学校1年生の学級編制の標準が引き下げられ、全国的に35人以下学級が実施となった。そのような中、飯塚市では小学校7校8学級、中学校2校2学級を独自に少人数学級編制し、小学校8人、中学校2人の教職員を配置し、全体的に小学校2～3年生及び中学校1年生で35人以下学級編制が実施出来た。</p> <p>課題として人材確保の点があるが、今後も引き続き、国の動向や拡充も視野に入れて実施していく必要がある。</p>		

点検及び評価シート

No. 3

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【1. 学力の向上】学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着を図ります。低学年においては、少人数による学級編制を行い、一人ひとりの個性や能力を引き出す教育活動を推進します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	小中教員の連携強化による学習指導の充実 《小中一貫教育調査研究事業の推進》	
	(2)事業等の内容	(1) 調査研究校の指定 市内から2地区の中学校区を指定する。 (2) 調査研究内容 学校や地域の実態に応じた「義務教育9年間を見通した効果的な教育の在り方」について調査研究を行なう。 ○教育効果を高める小中一貫教育のカリキュラム開発 ○「中1ギャップ」の解消に向けた小中一貫教育の在り方の研究	
	(3)事業等の目標値	調査研究の成果の還元	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>★平成23年度 穎田小・中学校 伊岐須小・二瀬中学校調査研究委嘱を通して、小中合同による一貫教育研修会、先進地視察を基にした交流会、9年間を見通した学習系統表の作成、家庭啓発通信の作成配布、出前授業や中学校体験授業等の実施</p> <p>【成果】</p> <p>○小中一貫教育の啓発のために、リーフレットを各家庭に配付している。</p> <p>○中1ギャップの解消等の教育課題の解決が図られ職員の意識改善が行われた。</p> <p>○小中学校9年間の目指す子ども像や教育目標を設定している。</p> <p>○小中一貫教育のカリキュラム及び組織運営等の作成している。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>・飯塚市小中一貫教育フォーラム市民及び教職員を対象と小中一貫教育の内容について説明し小中一貫教育に係る周知が図られた。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>開校準備（平成25年度）をしている穎田校区や他校区での研究推進に係る説明会での、指導助言の回数は年度当初の予想を上回った。また、小中一貫教育の推進に係る研修会等を複数回実施した校区もあったが、校区によっては、研究推進の認識に温度差があるため、広報啓発を更に強化するとともに、研究指定校としての計画的指定を検討する必要がある。また、学校再編（統合）と小中一貫教育の推進はそのねらいが別であるという認識を参加者に理解していただくことの困難性を感じた。</p> <p>さらに、飯塚市が推進する小中一貫教育の内容を広く一般市民に広報啓発する場として、「第1回飯塚市小中一貫教育フォーラム」を実施できた。今後、住民説明会等の経過をみて、内容の焦点化の検討が必要である。</p>		

点検及び評価シート

No. 4

対象年度	23年度	所管課名	教育総務課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【2. 豊かな人間性の育成】教育活動を通して、道徳性を養う心の教育の充実を図ります。また、国際化に対応するため、外国語指導助手の活用及び外国人児童生徒への教育支援に努めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	学校図書館の整備・充実	
	(2)事業等の内容	<p>市立の各小中学校の図書館において、図書蔵書充足率100%を目標に予算計上による図書購入を計画的に実施。</p> <p>また、学校教育に必要な各種資料等を収集するなど、児童生徒及び教職員等が活用することで教育課程に寄与するとともに、児童生徒の健全な教養を育成</p> <p>※充足率は学校図書館図書標準（平成5年文部科学省設定）参考</p>	
	(3)事業等の目標値	<p>学校図書充足率100%</p> <p>(学校図書館蔵書冊数/学校図書館図書標準冊数)</p>	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>◎H22年度</p> <p>☆小学校（22校）①図書購入額 10,975千円 ②図書購入冊数 7,791冊</p> <p>☆中学校（12校）①図書購入額 8,069千円 ②図書購入冊数 4,977冊</p> <p>★合計 ①図書購入額 19,044千円 ②図書購入冊数 12,768冊</p> <p>◎H23年度</p> <p>☆小学校（22校）①図書購入額 17,778千円 ②図書購入冊数 10,477冊</p> <p>☆中学校（12校）①図書購入額 14,369千円 ②図書購入冊数 8,369冊</p> <p>★合計 ①図書購入額 32,147千円 ②図書購入冊数 18,846冊</p> <p>【成果】</p> <p>◎H22年度</p> <p>☆小学校 学校図書充足率 88.3%（現有冊数 156,087/図書標準冊数 176,840）</p> <p>☆中学校 学校図書充足率 83.0%（現有冊数 95,255/図書標準冊数 114,800）</p> <p>★合計 学校図書充足率 86.2%（現有冊数 251,342/図書標準冊数 291,640）</p> <p>◎H23年度</p> <p>☆小学校 学校図書充足率 93.6%（現有冊数 164,674/図書標準冊数 175,840）</p> <p>☆中学校 学校図書充足率 88.5%（現有冊数 101,965/図書標準冊数 115,200）</p> <p>★合計 学校図書充足率 91.6%（現有冊数 266,639/図書標準冊数 291,040）</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>①目標値とH23年度実績の対比 → 91.6/100 (%)</p> <p>②H23年度における対前年度比 → +5.4%</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>「住民生活に光をそそぐ交付金（※26,156千円/2年）」と学校図書費を活用し、小中学校合わせて図書18,846冊を購入、それに伴う充足率が小学校は93.6%（前年度比+5.3%）、中学校88.5%（前年度比+2.3%）となった。但し、中学校において3校が未だ80%にとどかなかつた。この3校については、次年度の予算配当を考慮し、底上げを行う予定。</p>		

点検及び評価シート

No. 5

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課												
1 区 分	学校教育														
2 主要施策	【3. 体力の向上】外遊びや学校における体育学習の充実及び運動部活動の活性化を通して、子どもの運動・スポーツの習慣化を図り、体力向上のための教育活動を推進します。														
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	新体力テスト結果に基づいた体力向上の取組の促進 《新体力テストの調査結果のまとめ・情報提供等》													
	(2)事業等の内容	児童・生徒の体力の現状を把握するため、市内全小中学校で新体力テストを実施し、その結果を集約し情報を提供する。													
	(3)事業等の目標値	全国平均を上回る目標値：72/144、調査結果の活用													
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>全国平均を上回ったコマ数</td> <td>20/144</td> </tr> <tr> <td>平成22年度実績</td> <td>全国平均を上回ったコマ数</td> <td>23/144</td> </tr> <tr> <td>平成21年度実績</td> <td>全国平均を上回ったコマ数</td> <td>21/144</td> </tr> <tr> <td>平成20年度実績</td> <td>全国平均を上回ったコマ数</td> <td>22/144</td> </tr> </table> <p>【成果】</p> <p>新体力テストを市内全小中学校で実施することができ、市平均と全国平均の比較ができた。各学校が体力向上に向け、自校の児童生徒の体力等の実態を把握するとともに、その結果を指導に生かしていくことができた。特に、平成23年度は体育主任研修会を新規に開催することにより、各学校への詳細なる分析資料を配付し、体力向上へ向けての意識化を図ることができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>全国平均を上回ったコマ数は14%（20/144）で目標を達成できていないが調査結果の活用面においては、市内全小中学校の担当者へ直接的に説明ができ、次年度への取組の足がかりとすることができた。</p>			平成23年度実績	全国平均を上回ったコマ数	20/144	平成22年度実績	全国平均を上回ったコマ数	23/144	平成21年度実績	全国平均を上回ったコマ数	21/144	平成20年度実績	全国平均を上回ったコマ数	22/144
平成23年度実績	全国平均を上回ったコマ数	20/144													
平成22年度実績	全国平均を上回ったコマ数	23/144													
平成21年度実績	全国平均を上回ったコマ数	21/144													
平成20年度実績	全国平均を上回ったコマ数	22/144													
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>各学校においては、体育、保健体育の授業はもとより、特別活動、総合的な学習の時間、運動部活動など教育活動全体で、児童生徒が体を動かす機会や時間を多く確保し、運動することを楽しみ、体力の向上に積極的に取り組むことができるようにすることが課題である。</p> <p>また、過去5年間の実績を概観すると、（72/144）という目標値そのものの設定について検討する必要がある。</p> <p>学力向上と同様に、スモールステップの目標値を設定し、手の届く目標値に向けての取組を推進する必要がある。</p>														

点検及び評価シート（様式1）

No. 6

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【4. 人権教育の推進】児童生徒の発達段階に即し、学校の教育活動全体を通して、同和問題をはじめとする様々な人権教育を推進し、人権に関する知識や態度、実践力を身につける教育を推進する。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	人権・同和教育担当者研修会の定例実施	
	(2)事業等の目的	人権感覚と自尊感情の育成及び人権に関する知的理解力の育成のために、人権の視点に立った授業づくりを推進する。	
	(3)事業等の内容	<p>人権・同和教育担当者を下記①～③の部会にわけ、人権の視点に立った授業づくりのためのテーマに基づき研修を実施</p> <p>①学力と進路の保障部会</p> <p>②人権に関する知的理解力を培う部会</p> <p>③人権感覚を培う部会</p> <p>人権同和教育に係る共通課題解決のため、諸研修に参加させ教員の資質向上とともに人権同和教育の推進・充実を図る。</p>	
	(4)事業等の目標値	毎月、人権・同和教育担当者研修会の実施（達成率100%）	
4 取組状況・成果・決算見込額・目標値との対比など	<p>【取り組み状況】</p> <p>人権・同和教育担当者全体研修会において、人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]や福岡県人権教育推進プラン及び人権教育指導者用手引きを活用した研修を実施した。また、テーマ部会では、人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]にある人権・同和教育の目標に必要な3つの視点について研修を実施。</p> <p>【成果】</p> <p>全体研修会、テーマ部会における研修を通して、児童生徒の実態に基づいた人権・同和教育上の課題解決に向けて取り組むことができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>毎月、人権・同和教育担当者研修会を実施することができた。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	人権・同和教育担当者の研修会では、3つの部会の取り組みの成果を活用し、人権教育の目標設定、指導計画の作成、教材の選定・開発等の取り組みをさらに充実させる。		

点検及び評価シート

No. 7

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課												
1 区分	学校教育														
2 主要施策	【6. 生徒指導の充実】生徒指導の充実を図るため、いじめ・不登校や問題行動等の未然防止や早期対応に努めるとともに、生徒の社会性や対人関係能力の育成を図るため、関係機関及び地域との連携を強化する。														
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	スクールサポーターの活用													
	(2)事業等の内容	<p>中学校における問題行動等の未然防止や不登校支援の充実及び、規範意識の育成を目指すため、飯塚市教育委員会にスクールサポーターを設置する。</p> <p>飯塚市教育委員会は、学校長の求めに応じ、スクールサポーターを派遣する。派遣希望の学校長は、派遣申請書により飯塚市教育委員会に申請し、申請書をもとに飯塚市教育委員会が判断し当該校へ派遣する。</p>													
	(3)事業等の目標値	市内小中学校の問題行動等の数の減少（経年比較）													
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組状況】</p> <p>未然防止として、校内巡回、登下校時のパトロール、教育相談活動等を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>市内問題行動等の減少率（％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(件数)</td> <td>120</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>実績(件数)</td> <td>97</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td>123.71</td> <td>235.29</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記表のとおり、中学校の生徒指導上の問題行動等の発生件数が前年度比の約1/3に減少した。</p> <p>派遣申請数は年間通して2校から3校に増えた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>目標値との対比は、目標値を3/4に修正したが、発生件数はかなり下回った。（100％達成）</p>				H22年度	H23年度	目標値(件数)	120	80	実績(件数)	97	34	達成率(%)	123.71	235.29
	H22年度	H23年度													
目標値(件数)	120	80													
実績(件数)	97	34													
達成率(%)	123.71	235.29													
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>昨年度と比較して、中学校の暴力行為件数が減少した。学校生活が比較的落ち着いてきており、生徒間暴力や対教師暴力が減少し、特に器物損壊が激減した。</p> <p>課題として、派遣校を小学校へ適宜拡充していく。</p>														

点検及び評価シート

No. 8

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課																					
1 区分	学校教育																							
2 主要施策	【8. 学社連携の推進】学校を開放し、地域の施設や人材を活用して、積極的に高齢者や地域住民との交流を図るとともに、学社連携の推進に努めます。																							
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	学校開放日の実施に向けた市内企業等の参画推進																						
	(2)事業等の内容	保護者・地域に対して、学校の教育活動（授業参観等）の公開を通して、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進するため、飯塚市立の全小・中学校が一斉に学校を開放する。																						
	(3)事業等の目標値	年間2回の実施と4,000人以上の参加者（達成率100%）																						
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>★学校開放日（年2回）・来校者数</p> <table border="1"> <tr> <td>平成23年度</td> <td>6月</td> <td>4,200人</td> <td>11月</td> <td>4,703人</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>6月</td> <td>3,600人</td> <td>11月</td> <td>4,846人</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>6月</td> <td>3,268人</td> <td>11月</td> <td>4,022人</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>6月</td> <td>3,511人</td> <td>11月</td> <td>3,324人</td> </tr> </table> <p>【成果】</p> <p>学校開放日は実施5年目であったが、回を追うごとに参観者が増加し、学校への理解・協力が得られている。</p> <p>日頃から幼児・児童・生徒の社会科見学や職場体験活動等でお世話になっている市内の企業や事業所にも声をかけ、さらなる支援・協力をいただき、市内の事業所で働く保護者の方の参加奨励をお願いすることができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>4月の来校者は4,200人で11月の来校者数が4,846人となり、「4000人以上の参加者」という目標を2回とも達成することができた。</p> <p>また、総合計者数においても、昨年度より457名増加し、確実に取組の成果が上がっている。</p>				平成23年度	6月	4,200人	11月	4,703人	平成22年度	6月	3,600人	11月	4,846人	平成21年度	6月	3,268人	11月	4,022人	平成20年度	6月	3,511人	11月	3,324人
平成23年度	6月	4,200人	11月	4,703人																				
平成22年度	6月	3,600人	11月	4,846人																				
平成21年度	6月	3,268人	11月	4,022人																				
平成20年度	6月	3,511人	11月	3,324人																				
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	学校では、児童生徒、学校の様子を知らせる様々な取り組みを行っている。その情報は、保護者には伝わるが、地域にはあまり伝わっていない傾向がある。学校を開放し、学校の情報を様々なかたちで地域に知らせることで、学校に足を運んでもらえるよう工夫する必要がある。																							

点検及び評価シート

No. 9

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【8. 学社連携の推進】地域の人材を活用して、積極的に高齢者や地域住民との交流を図るとともに、地域や関係機関・団体との連携を密にした安全確保対策を推進します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	学校・家庭・地域・行政が一体となったコミュニティスクールの推進	
	(2)事業等の内容	コミュニティスクールの運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について、校長が作成する基本的な方針の承認を行う。学校運営協議会は、当該指定学校の運営に関する事項について、教育委員会又は校長に対して、意見を述べる。	
	(3)事業等の目標値	学校運営協議会の会議開催回数（目標値：年間5回開催）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>平成23年度 実績 年間5回の学校運営協議会を開催 平成22年度 実績 年間5回の学校運営協議会を開催</p> <p>【成果】</p> <p>学校運営協議会の取組に参加することで、保護者・地域住民同士のネットワークが構築され、地域コミュニティの再生につながっている。また、年間5回の学校運営協議会以外にも、県内外からの視察時や、学校行事等において、学校運営協議会委員さん方が日常的に学校に出向いている姿が見受けられる。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>目標通り年5回の学校運営協議会会議開催を実施 (達成率100%)</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	学校運営協議会を通じて、保護者や地域の方が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育の実現に取り組むことができている。今後も保護者・地域住民が学校運営・教育活動に積極的に参画・支援する「学校運営協議会」制度を推進していくこと不可欠である。		

点検及び評価シート

No. 10

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課
1 区 分	学校教育		
2 主 要 施 策	【10. 家庭・地域社会との連携】家庭や地域との連携・協力による学校づくりを推進するため、保護者や住民の意向を把握し、学校運営に反映させる学校評価システムの確立に努めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	学校グループ間での学校評価システムの確立	
	(2)事業等の内容	①中学校区による学校評価システム（自己評価・学校関係者評価）の機能化 ②自己評価、学校関係者評価の目的や意義の共通理解 ③学校関係者評価委員会の設置や評価者研修 ④評価結果の報告や公表の方法等の研究を進める。	
	(3)事業等の目標値	全小中学校での学校関係者評価の実施（達成率100%）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	【取組み状況】 平成23年度実績 小学校22校 中学校12校 計34校 【成果】 各学校が推進している教育内容について、学校内だけでなく、学校外の方々から評価を受け、教育の質の保証・向上、学校運営の改善、信頼される開かれた学校づくりへと繋げることが出来た。 【目標値との対比】 各学校で学校評価システムを構築することができ、全ての学校で学校運営の状況に関する情報を地域に積極的に提供することができた。 （達成率100%）		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	各学校が教育目標とそれに基づく教育活動その他の学校運営の状況等について評価し、改善を図ることにより、教育の質の向上をめざすとともに、保護者や地域住民等の信頼に応える学校づくりを進めていくことが必要である。そのためにも、本事業を今後も継続して実施するとともに、学校関係者評価の実施と結果の公表を全小中学校で実施できるように指導していくことが課題である。		

点検及び評価シート

No. 11

対象年度	23年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【11. 就学前教育の充実】家庭・地域社会と連携を図りながら、幼児教育の振興や子育てに関する学習機会の充実に努めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	幼保一体化に向けた調査研究	
	(2)事業等の内容	幼保一体化を見据え、「飯塚市公立保育所・幼稚園あり方検討委員会」を設置し、公立幼稚園・公立保育所の今後のあり方について調査審議し、市の方針を決定する。	
	(3)事業等の目標値	幼保一体化について検討し、市の方針を定める。	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>平成23年5月「飯塚市公立保育所・幼稚園あり方検討委員会」を設置し、8月までに計7回の会議を開催し、公立幼稚園・公立保育所の今後のあり方について審議、9月12日に答申をまとめた。</p> <p>答申を受け、平成23年11月に「飯塚市公立保育所・幼稚園のあり方に関する実施計画」を策定した。</p> <p>【成果】</p> <p>策定した実施計画において、公立幼稚園3園と公立保育所3園をそれぞれが連携した「認定こども園」として平成25年度に再編整備することとした。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>市の方針として実施計画を策定しており、目標は達成できた。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>幼保連携型の認定こども園への再編整備との方針を打ち出すことはできたが、実施に向けて幼保の違いを考慮した教育計画及び実務の協議が課題。</p> <p>県内でも公立の幼保連携型の認定こども園は2園しかなく、実施について先進事例の調査研究が重要と考える。</p>		

点検及び評価シート

No. 12

対象年度	23年度	所管課名	教育総務課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【12. 情報教育の充実】教育の情報化を推進するため、情報教育の充実を図るとともに、インターネット等ITを活用した教育内容・方法の研究・実践に努めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	情報機器の更新	
	(2)事業等の内容	市立の全小中学校のパソコン教室に設置している教育用情報機器（パソコン、プリンタ等）について、計画的な購入等により更新を行い、児童及び生徒の情報教育の環境整備に努める。	
	(3)事業等の目標値	年次計画に基づく情報機器の更新（達成率100%）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>◎パソコン設置台数 41台/1校（※小規模校については21台）</p> <p>（当初計画）</p> <p>H22年度 → 中学校2校（82台） 予算額 23,622千円（うち機器設定委託料 6,576千円）</p> <p>H23年度 → 中学校3校（123台） 予算額 32,434千円（うち機器設定委託料 8,175千円）</p> <p>【成果】</p> <p>H22年度 実施なし ※更新の計画の見直しを行い、H23年度に繰り越したため H23年度 中学校3校（123台） 決算額 27,300千円（うち機器設定委託料 7,350千円）</p> <p>【目標値との比較】</p> <p>H23年度の計画に基づいて情報機器を購入し、更新を行った。（達成率100%）。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>現在、パソコン教室の情報機器は、リース(901台)、購入(443台)で配置している。そのうち、リース328台分がH24年度に契約終了となるため、購入分(113台)とあわせて計441台の更新をH24年度に予定している。</p> <p>情報機器の更新については継続して行く予定であるが、H23年度から導入した新規システムにより、今後、機器の故障発生率の減少が見込まれるため、修繕等の費用削減にも努めていく。</p>		

点検及び評価シート

No. 13

対象年度	23年度	所管課名	学校給食課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	<p>【学校給食の充実】学校給食における衛生管理の徹底を図り、安全・安心な給食の提供に努めるとともに、献立内容の工夫・改善、並びに給食指導の充実による食育の推進に努めます。</p> <p>また、飯塚市学校給食運営基本方針に基づき、自校方式給食調理場への移行を推進するとともに、給食調理業務の民間委託を進めます。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	食育通信、献立表の発行を通じて学校給食に関する啓発の実施	
	(2)事業等の目的	学校教育の一環として実施されている学校給食について、その目的及び意義、また、食育の推進向上に関する内容等を児童・生徒及びその保護者に周知し、食に関する理解促進を図る。	
	(3)事業等の内容	<p>日々の献立内容や使用食材、及び日々の提供献立の目的と、その栄養価等を周知するための「献立表」と、食育推進の啓発を目的とした「食育いづか」を毎月1回発行し、学校給食と望ましい食生活への理解促進に取り組むもの。</p> <p>〔各啓発事業及びその回数〕</p> <p>① 給食献立表（年間11回、毎月1回発行）</p> <p>② 食育いづか（同上）</p> <p>③ 食育啓発事業「学校給食体験イベント」（年間1回）</p>	
	(4)事業等の目標値	（発行物）：毎月1回発行（啓発事業）年間1回実施	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】「献立表」及び「食育いづか」を毎月1回定期的に発行することにより、学校給食への理解促進と食育推進の周知と啓発に努めた。また、食育啓発事業として「学校給食体験イベント」を年1回開催し、広く市民に給食及び食育の啓発を実施。</p> <p>【成果】</p> <p>〔年間 発行数〕 11回発行（8月を除く）</p> <p>〔配付対象〕 小・中学校等の児童・生徒等及び保護者</p> <p>〔食育推進事業〕学校給食体験イベントの開催（H24.1.29）</p> <p>○内容：食育講演会、給食試食会 他、参加者数：86名</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>目標通り、達成率100%</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>学校給食を質の高い充実した内容のものとするため、全給食調理職員を対象に「衛生管理」及び「調理技術」の研修会等を本年度も実施した。また、児童・生徒やその保護者等を対象に食育推進啓発に関する行事等も開催し、安全・安心な学校給食の提供に貢献したが、今後も事業コストを可能な限り抑制しながら、本市学校給食の充実及び食育推進を図る活動を展開していくことが必要である。</p>		

点検及び評価シート

No. 14

対象年度	23年度	所管課名	生涯学習課（生涯学習・図書館グループ）																																																																																																			
1 区分	社会教育																																																																																																					
2 主要施策	【2. 社会教育施設の有効利活用の推進】社会教育施設の有効利活用の推進を図ります。																																																																																																					
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	社会教育施設の利用促進及び有効活用 《直営図書館管理運営業務（穂波図書館・颯田図書館）》																																																																																																				
	(2)事業等の内容	<p>5館ある市立図書館の内、3館は指定管理図書館、2館は直営管理図書館である。幅広い市民が自由に気軽に利用できる図書館づくりを目的とし、指定管理図書館と連携した全市的な図書館サービスの展開による図書館機能の充実・効率化を目指す。</p> <p>◆ 図書館資料蔵書数・利用状況等（平成23年度末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>飯塚</th> <th>ちくほ</th> <th>庄内</th> <th>穂波</th> <th>颯田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書数</td> <td>236,550</td> <td>66,726</td> <td>67,730</td> <td>31,749</td> <td>6,699</td> <td>409,454</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>440,855</td> <td>97,944</td> <td>149,914</td> <td>62,367</td> <td>5,540</td> <td>756,620</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>32,716</td> <td>3,853</td> <td>5,232</td> <td>2,229</td> <td>237</td> <td>44,267</td> </tr> <tr> <td>貸出利用者</td> <td>107,170</td> <td>23,295</td> <td>36,466</td> <td>13,666</td> <td>1,626</td> <td>182,223</td> </tr> </tbody> </table>						飯塚	ちくほ	庄内	穂波	颯田	合計	蔵書数	236,550	66,726	67,730	31,749	6,699	409,454	貸出冊数	440,855	97,944	149,914	62,367	5,540	756,620	登録者数	32,716	3,853	5,232	2,229	237	44,267	貸出利用者	107,170	23,295	36,466	13,666	1,626	182,223																																																													
		飯塚	ちくほ	庄内	穂波	颯田	合計																																																																																															
蔵書数	236,550	66,726	67,730	31,749	6,699	409,454																																																																																																
貸出冊数	440,855	97,944	149,914	62,367	5,540	756,620																																																																																																
登録者数	32,716	3,853	5,232	2,229	237	44,267																																																																																																
貸出利用者	107,170	23,295	36,466	13,666	1,626	182,223																																																																																																
(3)事業等の目標値	100%（利用者ニーズに対する資料の提供）																																																																																																					
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>図書館資料蔵書数・利用状況等の増減（平成22年度比）図書館購入費5館計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度</th> <th>飯塚</th> <th>ちくほ</th> <th>庄内</th> <th>穂波</th> <th>颯田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">蔵書数</td> <td>H23</td> <td>236,550</td> <td>66,726</td> <td>67,730</td> <td>31,749</td> <td>6,699</td> <td>409,454</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>227,176</td> <td>62,337</td> <td>65,393</td> <td>29,845</td> <td>6,150</td> <td>390,901</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>4.13%</td> <td>7.04%</td> <td>3.57%</td> <td>6.38%</td> <td>8.93%</td> <td>4.75%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貸出冊数</td> <td>H23</td> <td>440,855</td> <td>97,944</td> <td>149,914</td> <td>62,367</td> <td>5,540</td> <td>756,620</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>423,430</td> <td>92,330</td> <td>148,341</td> <td>63,829</td> <td>5,374</td> <td>733,304</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>4.12%</td> <td>6.08%</td> <td>1.06%</td> <td>△2.34%</td> <td>3.09%</td> <td>3.18%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">登録者数</td> <td>H23</td> <td>32,716</td> <td>3,853</td> <td>5,232</td> <td>2,229</td> <td>237</td> <td>44,267</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>30,742</td> <td>3,650</td> <td>4,882</td> <td>2,082</td> <td>193</td> <td>41,549</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>6.42%</td> <td>5.56%</td> <td>7.17%</td> <td>7.06%</td> <td>22.80%</td> <td>6.54%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貸出利用者</td> <td>H23</td> <td>107,170</td> <td>23,295</td> <td>36,466</td> <td>13,666</td> <td>1,626</td> <td>182,223</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>100,297</td> <td>21,618</td> <td>35,455</td> <td>14,841</td> <td>1,576</td> <td>173,787</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>6.85%</td> <td>7.76%</td> <td>2.85%</td> <td>△8.60%</td> <td>3.17%</td> <td>4.85%</td> </tr> </tbody> </table> <p>所蔵していない資料については、相互貸借にて対応、図書館の蔵書構成は、全5館を一体的に捉えて整備している。毎月、各図書館の選書担当者会議を開催、資料の重複購入、高額図書の購入他、購入資料の調整をしている。</p>							年度	飯塚	ちくほ	庄内	穂波	颯田	合計	蔵書数	H23	236,550	66,726	67,730	31,749	6,699	409,454	H22	227,176	62,337	65,393	29,845	6,150	390,901	増減	4.13%	7.04%	3.57%	6.38%	8.93%	4.75%	貸出冊数	H23	440,855	97,944	149,914	62,367	5,540	756,620	H22	423,430	92,330	148,341	63,829	5,374	733,304	増減	4.12%	6.08%	1.06%	△2.34%	3.09%	3.18%	登録者数	H23	32,716	3,853	5,232	2,229	237	44,267	H22	30,742	3,650	4,882	2,082	193	41,549	増減	6.42%	5.56%	7.17%	7.06%	22.80%	6.54%	貸出利用者	H23	107,170	23,295	36,466	13,666	1,626	182,223	H22	100,297	21,618	35,455	14,841	1,576	173,787	増減	6.85%	7.76%	2.85%	△8.60%	3.17%	4.85%
	年度	飯塚	ちくほ	庄内	穂波	颯田	合計																																																																																															
蔵書数	H23	236,550	66,726	67,730	31,749	6,699	409,454																																																																																															
	H22	227,176	62,337	65,393	29,845	6,150	390,901																																																																																															
	増減	4.13%	7.04%	3.57%	6.38%	8.93%	4.75%																																																																																															
貸出冊数	H23	440,855	97,944	149,914	62,367	5,540	756,620																																																																																															
	H22	423,430	92,330	148,341	63,829	5,374	733,304																																																																																															
	増減	4.12%	6.08%	1.06%	△2.34%	3.09%	3.18%																																																																																															
登録者数	H23	32,716	3,853	5,232	2,229	237	44,267																																																																																															
	H22	30,742	3,650	4,882	2,082	193	41,549																																																																																															
	増減	6.42%	5.56%	7.17%	7.06%	22.80%	6.54%																																																																																															
貸出利用者	H23	107,170	23,295	36,466	13,666	1,626	182,223																																																																																															
	H22	100,297	21,618	35,455	14,841	1,576	173,787																																																																																															
	増減	6.85%	7.76%	2.85%	△8.60%	3.17%	4.85%																																																																																															
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>生涯学習の場として「図書館」の必要性は高まっており、図書館資料の充実やレファレンス等の図書館機能の充実に対する要望は多い。穂波図書館についても昨年を若干下回る利用状況ではあったが、利用者アンケートの結果では、穂波図書館は、立地条件や駐車場の面から利用しやすいので存続を希望する声が多い。また、規模の小さい颯田図書館の利用者数は増えており、貸出数も伸びている。今後は公共施設のあり方に関する第1次実施計画で示される穂波・颯田図書館の存続・廃止の方向性を決定次第、存続であれば図書館の管理運営全般を指定管理者に委任することも検討したい。また、颯田図書館については、小中一貫校、公民館等の複合施設に図書館も併設されるため図書館の新規利用者の拡充に向けて方策を検討しなければならない。</p>																																																																																																					

点検及び評価シート

No. 15

対象年度	23年度	所管課名	中央公民館
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【2. 社会教育施設の有効利活用の推進】社会教育施設の有効利活用の推進を図ります。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	社会教育施設の利用促進及び有効活用《青少年野営訓練所管理》	
	(2)事業等の内容	市内小学校の児童や青少年に自然とのふれあいの機会を与え、自然環境の中で訓練を通じて心身を鍛え、豊かな情操と体力、耐性などの「生きる力」を培うことを目的に、飯塚市穂波青少年野営訓練所を維持管理する。	
	(3)事業等の目標値	年間利用者数：1,484人（平成22年度実績：1,413人の5%増）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設内の草刈り等整備を実施する。 良好な施設提供をするための修繕を実施する。 毎年5月下旬に安全祈念行事を開催する。 利用団体から利用申込受付と事前の打合せを実施する。 利用団体の野外活動の指導（入山式・テント設営撤収・野外調理・キャンプファイヤー・野外ゲーム等）を行う。 <p>【成果】</p> <p>施設を利用した子どもたちは、日常の便利さから乖離され、自然体験や野外活動を通じて心身の鍛錬や体力の向上等に効果が表れている。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>23年度目標値1,484人に対し実績1,357人、達成率91.40%</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>野外活動を指導する指導者の不足があることから、その確保と養成が課題であるとともに、指導にあたっては、子どもたちの主体性を育む観点から、活動全般を通して、大人に依存しない展開をしていくことが求められる。</p> <p>また、昭和32年に設置し、その後、修繕や改修を重ねているが、老朽化が進んでいる状況の中で、適正な維持管理に努めながら、利用者増を図るために、学校等の教育機関への広報活動を強化していくことが必要である。</p>		

点検及び評価シート

No. 16

対象年度	23年度	所管課名	中央公民館
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【5. 様々な学習機会の提供及び学習成果の活用】ライフステージに応じた学習の機会を提供します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	熟年者マナビ塾事業の実施	
	(2)事業等の内容	<p>小学校の余裕教室等を地域の高齢者の居場所として開放し、そこに活動プログラムを導入し、生きる力の向上と学校支援ボランティア活動を行う。</p> <p>○簡単な読み・書き・計算で脳の活性化を図る。</p> <p>○自分たちが得意な種目を自分たちで楽しく学ぶ。</p> <p>○学校支援活動を行う。</p> <p>○毎週1回 年間3期開講・学校の学期に準ずる</p>	
	(3)事業等の目標値	年間学校支援活動回数 550回・年間学校支援参加者数 3,100人	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>高齢者の生きがいづくり、児童の健全育成や特色ある学校づくり等を推進しているとともに、塾生の拡大に向け、地域住民に事業の主旨・内容等の情報を提供し広報活動を行っている。そのことで、地域に開かれた学校づくりにも貢献している。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 22 小学校で開講、受講者 224 人 ・学校支援の回数 530 回、学校支援参加者数延べ 3,234 人 <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援派遣回数：達成率 96.36%（実績：530回／目標：550回） ・学校支援参加者数：達成率 104.32%（実績：3,234人／目標：3,100人） 		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>1 学校あたりの塾生数が平均で 10 名であり、塾生も固定化している傾向にあることから、新規塾生の拡大が課題である。そのために、公民館報や市のホームページ等で事業の周知や活動紹介を積極的に行うとともに、健康や生きがいづくりが果たされるような魅力ある活動内容の充実を図っていく必要がある。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するうえで、今後、中学校との連携や支援体制を確立していくことが望まれる。</p>		

点検及び評価シート

No. 17

対象年度	23年度	所管課名	中央公民館
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【5. 様々な学習機会の提供及び学習成果の活用】ライフステージに応じた学習の機会を提供します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	高齢者講座等（コスモス大学など）の実施	
	(2)事業等の内容	生涯学習を志す60歳以上の高齢者を対象に、通年の講座として教養講座と専門講座を開催し、高齢者が、学びながら生きがいのある人生を送るとともに、受講生の自主的な運営の中で仲間づくりを促す。また、技能や特技を地域で生かし、いきいきと心豊かで充実した人生を送り、生き甲斐のある生活の実現を目指す。このことから、知識、教養を高めて地域活動に積極的に参加したり、元気に高齢期を過すことで、自ら学んだことを地域活動に還元したり、地域づくり、社会貢献に寄与する高齢者の増大を図っている。 ○参加者（1年生～4年生）による自主運営 ○一般教養科目と選択科目を受講 ○選択科目の内容 1～4年生 5コース（園芸・水彩画・書道・コーラス・健康体操）	
	(3)事業等の目標値	年間修了者率 95%	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>参加者のニーズに対応した講座を開講することで、社会貢献を果たしていき、生きがいの感じられる内容の充実を図っている。また一般教養の時間に学習成果を地域に還元することとして、ボランティア活動を実施した。また、平成23年度は、1年生61名・2年生67名・3年生77名が修了、4年生42名が卒業した。尚、各学年とも一般教養コース、選択コース各17回の学習の他に下記の特別学習を行った。</p> <p>◇夜須高原一泊研修（1年生対象）39名参加 ◇合同体育祭230名参加 ◇研修旅行143名参加 ◇大学祭 作品展示、折り紙体験コーナー、ステージ発表、記念講演</p> <p>【成果】</p> <p>年度当初の受講者が253名に対し、修了者が247名である。 年間修了者率：達成率97.6%（247名/253名）</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>年間修了者率達成率102.1%（実績97.6%/目標95%）</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	高齢者人口が増大している現状では、受講者数は増加することが予想されるが、250名前後で推移していることから、市報、公民館報、新聞等を通して受講者の拡大を図るとともに、魅力ある講座の開設や内容の充実を図っていく必要がある。また、今後の高齢化社会の進展に順応し、実情に応じた事業展開を図っていくことや受講者自らが事業運営の主体となるような体制の構築を図っていくことが望まれる。		

点検及び評価シート

No. 18

対象年度	23年度	所管課名	中央公民館
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【5. 様々な学習機会の提供及び学習成果の活用】ライフステージに応じた学習の機会を提供します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	各種学級・講座の実施	
	(2)事業等の内容	地域住民が必要とする学習課題や要請される学習課題に対する学習プログラムを講座や教室の開催で実施し、学習機会を提供することで、学習者の知識・教養の向上や地域住民間の交流促進、地域自治能力の向上等を図るとともに、自らが学ぶ学習集団への進展を図る。	
	(3)事業等の目標値	年間開催回数 432回 (12公民館×12月×3回)、 年間参加者数 8,640人 (432回×20人)	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>市民ニーズに応じた講座の企画・立案は基より、公民館報等での周知の際には、市民が興味や参加意欲を持つような講座タイトルを付けるなど、広く講座を周知するとともに参加人数の向上に努めた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間開催数：424回 ・年間参加者数：11,378人 <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間開催数達成率 98.15% (実績：424回／目標：432回) ・年間参加者数達成率 131.69% (実績：11,378／目標：8,640人) 		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>本年度の成果としては、社会情勢を反映した講座、住民ニーズに則した講座、世代間交流講座、継続した自主学習グループづくりを推進する為の講座・教室などを企画・立案し、周知方法も広い年齢層が興味を持つような講座タイトルを付けることにより、前年度に比べ、1開催回数当たりの参加者数を大幅に増加させることができた。課題としては、講座や教室をきかっけにした自主学習グループをより多く発足させ、継続的な自主学習活動の活性化を今以上に図ることが求められる。</p>		

点検及び評価シート

No. 19

対象年度	23年度	所管課名	中央公民館
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【5. 様々な学習機会の提供及び学習成果の活用】ライフステージに応じた学習の機会を提供します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	公民館まつり等の実施	
	(2)事業等の内容	公民館サークルのステージ発表、作品展示や各種団体、ボランティアグループの活動紹介を行って、来場者に対して、学習者の成果発表の機会を共有することを通じた学習機会の提供と学習意欲の喚起を促す。また、公民館で学習するサークルや各種団体、ボランティアグループ等が、日ごろの学習成果を発表することで、学習の自主性や自発性を培い、学び合う学習意欲の向上と活動の活性化を図る。	
	(3)事業等の目標値	来場者数 17,550 人	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>学習成果を市民に向けて発表する場であり、地域に根ざした事業であることから、定期的にサークル代表者会議及び担当者会議を開催し、各公民館の状況、実情に合うまつりを開催した。</p> <p>【成果】</p> <p>来場者数 15,200 名（13 公民館）</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>来場者数：達成率 86.60%（実績：15,200 人／目標：17,550 人）</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>公民館サークル等の学習成果発表が、地域住民の学習意欲の喚起につながったり、学習人口の拡大につながったりしていることから、より多くの来場者があるように、祭りの内容充実や広報活動の強化等が求められる。そのために、企画実施における多くの地域住民の参画や協力を求めて、地域住民の交流イベントとして開催していけるよう、地域での協議検討を行っていく。</p>		

点検及び評価シート

No. 20

対象年度	23年度	所管課名	中央公民館
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【6. ボランティアネットワークの整備拡充】生涯学習ボランティアネットワーク（人材派遣事業）の整備拡充を図ります。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	○地域で活躍している人材の発掘・登録 ○学習ボランティア登録者の派遣・仲介○学校支援ボランティア活動の推進	
	(2)事業等の内容	社会教育や生涯学習の分野において、学習指導・支援・援助可能な者を登録し、学校や幼稚園、保育所等からの要請に応じて、登録者を派遣する。このことで、市民への学習機会の提供や学習活動を支援するとともに、市民ボランティアの積極的な地域貢献を促し、生涯学習の態勢の確立と住民による住民のためのボランティア活動を推進する。	
	(3)事業等の目標値	ボランティア派遣人数 2,276 人・派遣先対象人数 46,000 人	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>新たな派遣先に対し事業説明や登録者の紹介を行い、ボランティア派遣人数の増加、派遣件数の増加を図った。また、学習ボランティアを派遣することにより、児童・生徒や地域住民へ様々な生涯学習を提供することができた。</p> <p>【成果】</p> <p>派遣人数 2,361 名 派遣先対象人数 40,796 名</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>派遣人数達成率 103.73%（実績：2,361 名／目標 2,276 名）</p> <p>派遣先対象人数達成率 88.68%（実績：40,796 名／目標 46,000 名）</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>活動指標である「派遣先件数」は前年度比 16.96%増、成果指標である「ボランティア派遣人数」は 6.39%増、「派遣先対象人数」は 11.02%減となっている。このことから派遣先件数の増加及びボランティア派遣人数の増加により社会教育ならびに学校教育の各分野において行われる学習活動、体験活動の充実、市民ボランティアによる積極的な地域貢献及びボランティア自身の生きがいづくりが推進されているものと判断される。しかしながら、派遣先対象人数が減少していることから、今後、効率的な派遣方法等を検討する必要がある。また、登録はしていても派遣の機会が少ない登録者もいることから、その活動機会の拡大に向けた広報やPR等が必要である。</p>		

点検及び評価シート

No. 21

対象年度	23年度	所管課名	生涯学習課（生涯学習・文化振興グループ）
1 区分	生涯学習		
2 主要施策	【11. 文化の振興】飯塚市文化振興マスタープランに基づき、市民が芸術文化に親しむ機会を拡充するなど、魅力ある芸術文化活動を推進します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	飯塚新人音楽コンクール 30周年記念事業の実施	
	(2)事業等の内容	<p>①特別招待演奏会</p> <p>・7月16日（土） イイヅカコスモスコモン 大ホール 「日本の心のふるさとを謳う」飯塚から巣立ったクラシック演奏家（過去の入賞者）が日本歌曲を中心に、なつかしい楽曲を奏でる。出演者12名（過去の入賞者：ピアノ3名・声楽3名）</p> <p>・特別招待演奏会 特別ゲスト 秋川 雅史</p> <p>②市の財政支援：運営費補助金1,500千円</p> <p>③福岡県文化団体連合会：助成金500千円</p>	
	(3)事業等の目標値	コンクール会場への入場者数の増（対前年度）100%	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組状況】</p> <p>◎特別招待演奏会 ≪入場者数≫平成22年度（第29回）294名 平成23年度（第30回）1,412名（対前年度比）480.3%増</p> <p>◎第30回飯塚新人音楽コンクール ：イイヅカコスモスコモン大・中ホール</p> <p>●予選 5月3、4、5日（ピアノ部門） 5月4、5日（声楽部門） ・演奏時間 8分以内 ・参加料 20,000円 ・審査 10名の審査員により行われる。</p> <p>●本選 6月5日（ピアノ部門、声楽部門） ・演奏時間 ピアノ部門15分以内 声楽部門10分以内 ・参加料 50,000円 ・審査16名の審査員により行われる。 ・賞、表彰 1位 文部科学大臣賞など 海外研修費 100万円 2位 県知事賞など 賞金 30万円 3位 飯塚文化協会飯塚賞など 賞金 20万円</p> <p>・出場者数 平成23年度（第30回）平成24年度（第31回） ピアノ部門 56名 38名 声楽部門 39名 41名</p> <p>予選・本選入場者 達成率85.24% 達成率140.38%</p> <p>【成果】 市民並びに近隣住民への地域音楽文化の向上を図ることができ、全国的にも有数の新人音楽家の登竜門として地位を築きあげている。また、国内でもトップクラスのコンクールとして評価されている。</p> <p>【目標値との対比】 入場者数は前年度を大きく上回ることが出来た。（達成率100%）</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>事業費は1千万円以上であり、そのほとんどを市民からの寄付や参加料などで運営し、飯塚新人音楽コンクールを支えている。</p> <p>このことから市民に対して、広くコンクールの周知を図り、より多くの来場者を呼び込む必要があるため、広報活動等をより積極的に行っていく必要がある。</p>		

点検及び評価シート

No. 22

対象年度	23年度	所管課名	文化財保護課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【12. 文化財保護思想の普及啓発】歴史や伝統に培われた貴重な文化資源を永く後世に伝えるため、文化財保護活動の充実や情報提供等、文化財に対する理解を深める施策を推進します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	企画展の開催	
	(2)事業等の内容	飯塚の歴史と文化への理解を深めるため、テーマを決め、企画展を開催する。 ①企画展「五月人形と山笠展」の開催 ②企画展「戦争とくらし展」の開催 ③企画展「飯塚市歴史資料館開館30周年記念展－立岩遺跡を掘った人々－」の開催 ④企画展「木村健一氏炭鉱絵画展」の開催 ⑤企画展「ひな人形展」の開催	
	(3)事業等の目標値	企画展入館者数の増（対前年度比）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】【成果】</p> <p>①「五月人形と山笠展」(4月29日～5月23日)入館者数：1,053人 ②「戦争とくらし展」(8月4日～8月28日)入館者数：1,015人 ③「飯塚市歴史資料館開館30周年記念展」(10月16日～11月13日)入館者数3,141人 ④「木村健一氏炭鉱絵画展」(11月17日～2月6日)入館者数:2,366人 ⑤「ひな人形展」(2月11日～4月2日)入館者数：4,834人</p> <p>【目標値との対比】 平成22年度企画展入館者数：11,573人 平成23年度企画展入館者数：12,409人（+836人）+7.2% 企画展入館者数は平成22年度より増加した。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	課題としては、今後も入館者が増加するよう、入館者のニーズに合った企画展を実施するとともに、広報活動を積極的に行う。		

点検及び評価シート

No. 23

対象年度	23年度	所管課名	文化財保護課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【12. 文化財保護思想の普及啓発】歴史や伝統に培われた貴重な文化資源を永く後世に伝えるため、文化財保護活動の充実や情報提供等、文化財に対する理解を深める施策を推進します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	文化財(旧伊藤伝右衛門邸など)の一般公開(旧伊藤伝右衛門邸)	
	(2)事業等の内容	筑豊に残る近代化遺産を貴重な文化遺産として、広く市民に理解を深めてもらうため、旧伊藤伝右衛門邸を公開し、イベントを開催する。 ①「五月人形展～江姫と戦国武将達」の開催 ②「平戸がつなぐ天皇家と白蓮」の開催 ③「雛のまつり」の開催	
	(3)事業等の目標値	入館者の増(対前年度比)	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>旧伊藤伝右衛門邸の公開と商工観光課、観光協会と連携しイベントを実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>①「五月人形展」(4月29日～5月23日)入館者数：6,545人 ②「平戸がつなぐ天皇家と白蓮」(10月20日～12月5日)入館者数：17,655人 ③「雛のまつり」(2月11日～4月2日)：入館者数26,391人</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>平成22年度入館者数：66,840人 平成23年度入館者数：79,545人(+12,705人)+19%</p> <p>旧伊藤邸の庭園が正式に国の名勝指定を受けた(平成23年9月21日)。</p> <p>商工観光課、観光協会等と協議検討しながらイベントを実施し、入館者数が平成22年度より増加した。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	今後の課題としては、庭園が国の名勝に指定されたため、今後、庭園保存管理計画の策定、旧伊藤邸及びその周辺の景観整備が必要である。		

点検及び評価シート

No. 24

対象年度	23年度	所管課名	文化財保護課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【12. 文化財保護思想の普及啓発】歴史や伝統に培われた貴重な文化資源を永く後世に伝えるため、文化財保護活動の充実や情報提供等、文化財に対する理解を深める施策を推進します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	文化財(旧伊藤伝右衛門邸など)の一般公開(旧松喜醤油屋)	
	(2)事業等の内容	江戸時代末期から明治時代初期に建てられた旧松喜醤油屋を公開し、当時の商家の暮らしや繁栄ぶり及び地域の歴史を理解してもらおう。またイベントとしてひな人形の展示を行った。	
	(3)事業等の目標値	入館者の増(対前年度比)	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>毎週土曜日・日曜日に公開。「筑前いづか雛まつり」(2月18日～3月4日)にあわせて、室内に地元自治会の協力を得、ひな人形を展示した。</p> <p>【成果】</p> <p>ひな人形展示期間の入館者数 1,505 人(平成 22 年度は 2,013 人) ※ひな人形の展示期間中を含み、年間を通しての入館者が減じている。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>平成 22 年度入館者数 2,291 人 平成 23 年度入館者数 1,740 人(-551 人)-24.1%</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>課題として、地域の文化財としての活用方法などを地元と協議、検討を行う必要がある。</p> <p>建物の傷みが著しく、改修工事が必要。案内、解説サインを増設する必要がある。</p>		

点検及び評価シート

No. 25

対象年度	23年度	所管課名	文化財保護課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【13. 文化財の保存・継承・活用】文化財の保存・整備・活用を図るとともに、地域の文化や特色を伝承する民俗芸能の保存・継承・活用を進めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	指定文化財の保存・継承（綱分八幡宮）	
	(2)事業等の内容	県指定文化財「綱分八幡宮神幸行事」の活動補助を行い、民俗文化財の保存、後継者育成を図る。	
	(3)事業等の目標値	補助金 500,000 円の交付（隔年）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>補助金の交付の他、人的補助を行い、広報の方法等について保存会と検討、協議を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>補助金の交付 交付額 500,000 円</p> <p>※綱分八幡宮神幸行事は予定通り実施できた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>平成 22 年度補助金の交付は無</p> <p>平成 23 年度補助金の交付額 500,000 円</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	課題として、旧庄内町の時より補助金を交付していたが、合併後補助金の交付方法や額を減じた経緯がある。指定民俗文化財として保護を図り、補助金の額、広報方法等保存会と協議、検討が必要と考えられる。		

参考資料

1 平成 23 年度 教育委員会会議付議案等一覧

(1) 教育委員会会議付議案件

件 名	提出日
○飯塚市学校運営協議会委員の委嘱又は任命	4 月 20 日
○飯塚市学校通学区域審議会委員の委嘱又は任命	4 月 20 日
○飯塚市中心身障がい児（生）就学指導委員会委員の委嘱又は任命	4 月 20 日
○飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱又は任命	4 月 20 日
○飯塚市社会教育委員の委嘱	4 月 20 日
○飯塚市体育館条例施行規則の一部を改正する規則	4 月 20 日
○飯塚市野球場条例施行規則の一部を改正する規則	4 月 20 日
○飯塚市民プール条例施行規則の一部を改正する規則	4 月 20 日
○飯塚市テニスコート条例施行規則の一部を改正する規則	4 月 20 日
○飯塚市グラウンド条例施行規則の一部を改正する規則	4 月 20 日
○委員長の選挙	5 月 17 日
○委員長職務代行者の指定	5 月 17 日
○委員の議席	5 月 17 日
○飯塚市図書館運営協議会委員の任命	5 月 24 日
○飯塚市体育指導委員の委嘱	5 月 24 日
○飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会規則の一部を改正する規則	6 月 8 日
○飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱又は任命	6 月 8 日
○飯塚市中心身障がい児（生）就学指導委員会委員の委嘱	6 月 8 日
○飯塚市立学校通学区域審議会委員の委嘱	6 月 8 日
○飯塚市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則	6 月 8 日
○飯塚市公民館運営審議会委員の委嘱	6 月 8 日
○飯塚市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	7 月 21 日
○飯塚市図書館運営協議会委員の任命	7 月 21 日
○飯塚市立学校通学区域審議会委員の委嘱	7 月 21 日
○飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	7 月 21 日
○平成 23 年度教育費に係る補正予算要求	8 月 22 日
○平成 24 年度から使用する中学校教科用図書の採択	8 月 22 日
○飯塚市中心身障がい児（生）就学指導委員会委員の任命	8 月 22 日
○飯塚市文化財保護条例施行規則の一部改正	8 月 22 日
○飯塚市給食条例施行規則の一部改正	8 月 22 日
○契約の締結（（仮称）飯塚市立颯田小中学校建設（1 工区）工事）	8 月 22 日
○契約の締結（（仮称）飯塚市立颯田小中学校建設（2 工区）工事）	8 月 22 日
○契約の締結（（仮称）飯塚市立颯田小中学校建設（3 工区）工事）	8 月 22 日
○飯塚市教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則	9 月 14 日
○飯塚市教育委員会事業評価結果（平成 22 年度分）	10 月 18 日

○飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	10月18日
○飯塚市体育施設条例の制定	11月14日
○飯塚市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	11月14日
○飯塚市体育指導委員規則の一部を改正する規則	11月14日
○飯塚市立学校施設の目的外使用に関する条例の一部を改正する条例	11月14日
○平成23年度教育費に係る補正予算要求	11月14日
○飯塚市公立保育所・幼稚園のあり方に関する実施計画の策定	11月14日
○飯塚市立学校管理規則の一部を改正する規則	11月14日
○飯塚市体育施設条例施行規則の制定	1月20日
○平成23年度教育費に係る補正予算要求	2月9日
○平成24年度教育費に係る当初予算要求	2月9日
○飯塚市立図書館条例の一部を改正する条例	2月9日
○飯塚市公民館条例の一部を改正する条例	2月9日
○飯塚市歴史資料館条例施行規則の一部を改正する規則	2月9日
○鎮西中学校区及び穂波東中学校区における小中一貫教育校建設適地の決定	2月27日
○飯塚市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	2月27日
○飯塚市立学校特認校制度実施要綱の制定	2月27日
○穂波地区の学校選択制度の廃止	2月27日
○平成24年度教育費に係る補正予算要求	2月27日
○平成24年度飯塚市教育施策要綱	3月19日
○飯塚市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則	3月19日
○飯塚市スポーツ推進委員の委嘱	3月19日
○平成24年度教職員の人事異動等	3月23日

(2) 教育委員会会議報告案件

件 名	提出日
○平成23年度飯塚市「学校開放日」、運動会・体育祭及び修学旅行の日程等について	4月20日
○学校給食費滞納に対する法的措置の専決処分について	4月20日
○飯塚市文化会館における指定管理者の公募について	4月20日
○飯塚市立図書館におけるサービスの改善について	4月20日
○飯塚市立岩公民館における一酸化炭素中毒事故について	4月20日
○五月人形と山笠展について	4月20日
○平成22年度第6回一般会計補正予算（平成23年3月31日専決処分）について	5月24日
○平成23年度飯塚市立小学校MIM指導者研修会について	5月24日
○第2回飯塚市小中一貫教育フォーラムの開催について	5月24日
○小中一貫校建設基本構想等策定委託契約の締結について	5月24日

○平成 23 年度中学生海外研修事業について	5 月 24 日
○飯塚市立図書館の休館について	5 月 24 日
○旧伊藤伝右衛門邸の庭園に係る国の文化財指定について	5 月 24 日
○飯塚市立穎田小中学校建設事業について	5 月 24 日
○平成 23 年度大規模改造工事等について	6 月 8 日
○平成 23 年度学校開放日の結果報告について	6 月 8 日
○第 2 回飯塚市小中一貫教育フォーラムについて	6 月 8 日
○飯塚市奨学資金貸付審議会委員の委嘱について（補助執行事務）	6 月 8 日
○平成 23 年度飯塚市奨学資金貸付審議会に係る諮問及び答申について（補助執行事務）	6 月 8 日
○第 32 回飯塚市少年の船事業について	6 月 8 日
○飯塚市文化会館条例の一部を改正する条例の制定について（補助執行事務）	6 月 8 日
○文化会館指定管理者の応募状況について	6 月 8 日
○第 30 回飯塚新人音楽コンクールについて	6 月 8 日
○平成 23 年度第 3 回飯塚市議会の結果報告について	7 月 21 日
○飯塚第一中学校統合調整会議の設置について	7 月 21 日
○平成 23 年度自校式給食調理場建設等の概要につて	7 月 21 日
○飯塚市教育文化振興事業団運営費補助金交付要綱の制定について（補助執行事務）	7 月 21 日
○平成 24 年度飯塚市立幸袋幼稚園 4、5 歳児の学級数及び定員について	8 月 22 日
○第 32 回飯塚市少年の船事業本研修の実施報告について	8 月 22 日
○2012 年飯塚市成人式の開催日について	8 月 22 日
○飯塚市文化会館の指定管理者に係る指定候補者の答申について（補助執行事務）	8 月 22 日
○第 3 回飯塚市小中一貫教育フォーラムについて	9 月 14 日
○飯塚市中学生海外研修事業の実施報告について	9 月 14 日
○飯塚市歴史資料館開館 30 周年記念展について	9 月 14 日
○飯塚市公立保育所・幼稚園のあり方の答申について	9 月 14 日
○飯塚市小中一貫校建設適地検討協議会の設置について	9 月 14 日
○平成 23 年度第 4 回飯塚市議会定例会の結果報告について	10 月 18 日
○飯塚市学校給食調理場等整備計画について	10 月 18 日
○穎田小中学校建替えに伴う学校愛称及び校章に関する提案書について	10 月 18 日
○飯塚市文化財保護事業補助金交付要綱について（補助執行事務）	10 月 18 日
○「旧伊藤傳右エ門氏庭園」の国名勝指定について	10 月 18 日
○飯塚市誌編纂業務の進捗状況について（補助執行事務）	10 月 18 日
○飯塚市公立保育所・幼稚園のあり方に関する答申内容の説明会について	10 月 18 日
○平成 24 年度飯塚市立幼稚園園児募集結果について	11 月 14 日
○平成 25 年度全国高等学校総合体育大会の開催について	11 月 14 日
○飯塚市都市公園体育施設条例の一部を改正する条例（補助執行事務）について	11 月 14 日
○平成 23 年度学校開放日の結果報告について	12 月 14 日

○心身障がい児（生）の就学等について	12月14日
○飯塚市立学校通学区域の取り扱いについて	12月14日
○庄内幼稚園 PTA 及びかいた幼稚園保護者会からの要望書について	12月14日
○飯塚第一中学校、菰田中学校及び飯塚第三中学校統合に伴う学校名の提案等について	12月14日
○飯塚市小中一貫校建設基本構想経過報告について	12月14日
○学校給食調理等業務の受託候補者特定について	12月14日
○平成 23 年度第 5 回飯塚市議会定例会の結果報告について	1月20日
○学校給食費滞納に対する法的措置の専決処分について	1月20日
○飯塚市地区公民館施設整備計画の決定延期について	1月20日
○幼稚園の今後のあり方に関する保護者説明会について	1月20日
○施設一体型小中一貫教育校の建設適地に関する建議について	2月9日
○飯塚市都市公園体育施設条例施行規則の一部を改正する規則（補助執行事務）について	2月9日
○ひな人形展について	2月9日
○第 4 回飯塚市小中一貫教育フォーラムについて	3月19日
○大規模改造工事等の進捗について	3月19日
○自校式給食施設建設工事の進捗について	3月19日
○全国大会等出場報奨金交付要綱の改正（補助執行事務）について	3月19日
○飯塚市子ども祭の開催について	3月19日